

**授業概要**

保育内容総論は、各論として捉えられる保育内容 5 領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に把握して理解するものである。保育の多様な展開について学習し、子どもの育ちを支える保育者として求められる知識と保育技術、その他保育内容にかかわることを総合的に学び身につけることを目的として講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーションとガイダンス：保育内容総論について
第 2 回	保育の基本と保育内容
第 3 回	保育の特質:保育教材から考える、教材制作
第 4 回	遊びによる総合的な保育
第 5 回	幼児の発達と生活
第 6 回	環境と保育内容
第 7 回	幼児理解と保育内容
第 8 回	保育内容と保育・教育課程
第 9 回	指導計画の実際
第 10 回	保育内容と保育の展開
第 11 回	保育の評価と記録
第 12 回	保育者の役割
第 13 回	保育内容の実践的理解①:保育教材を通じた保育実践の発表
第 14 回	保育内容の実践的理解②:実技発表
第 15 回	保育内容における現状と課題
第 16 回	定期試験

**到達目標**

乳幼児の発達の特徴を踏まえた、子ども一人ひとりに寄り添う保育者の役割と援助について習得する。保育内容 5 領域について構造的にとらえた上で、保育内容をいかに構成・展開していくか理解し保育実践力を身に付ける。

**履修上の注意**

幼稚園教諭免許取得に必要な科目であるため、教員免許取得の意識をもって臨むこと。

**予習・復習**

予習としては幼稚園教育要領、授業箇所のテキストを読む。  
復習は授業を振り返り、教科書を読み重要事項をまとめる。

**評価方法**

受講態度 10%、実践発表 40%、学期末定期試験 50%

**テキスト**

- ・教科書名：子どもと保育 保育内容の理解を目指して
- ・著者名：五十嵐淳子
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出版年 (ISBN)：978-4-909655-66-0